

道路施設の老朽化対策の推進

R6補正予算額 1,500千円
R7当初予算額 55,500千円

◆取り組み◆

- ・県では、令和2年度から橋梁・トンネル等、道路を構成する主要な施設の老朽化対策を加速させることとし、令和6年度までに行った点検で「**早期に修繕が必要（健全度Ⅲ）**」と判定されている施設について、**点検後5年以内に修繕**する目標としています。
- ・大田管内の158施設（橋梁148橋、トンネル8本、大型加幅1基、門型標識1基）のうち、「**早期に修繕が必要（健全度Ⅲ）**」な施設は28施設（橋梁25橋、トンネル3本）あり、そのうち20施設については修繕が完了しました。（令和7年4月現在）
- ・残りの8施設（橋梁7橋、トンネル1本）について、今後、**老朽化対策を加速**して実施していきます。

【橋梁修繕 R7予定】

修繕実施

- （主）三瓶山公園線 湯の谷橋
- （主）仁摩邑南線 新大原橋
- （主）仁摩邑南線 宮風呂橋
- （一）池田久手停車場線 研砥橋
- （一）池田久手停車場線 三ツ石橋
- （主）大田桜江線 桜井トンネル

◆施工事例◆

R3施工 掛戸橋

